

平成24年度事業報告について

1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

平成24年度は、東日本大震災に関連したシンポジウム、地域における児童虐待防止のシンポジウムを開催した。震災との関係では、被災地における社会的養護の現状から、被災地特有の課題及び今後必要な支援を検討し、意見交換を行った。地域との関係では「地域で取り組む子ども虐待の防止」をテーマに、放課後児童クラブ、子育てサークル、訪問型親支援等の活動を通じて、地域での児童虐待防止の取組みや健全育成分野と社会的養護分野が一体となった児童虐待防止のあり方について報告・意見交換をした。いずれも虐待防止の現代的かつ実践的課題であり、今後も引き続き検討課題とする予定である。

◆ 第18回シンポジウム

テーマ 東日本大震災から1年 ～被災した子どもへの支援をめぐる社会的養護の現状と課題
 日時・会場 平成24年6月17日(日) 星陵会館
 参加者 約220名
 内容 基調講演・シンポジウム

◆ 第19回シンポジウム

テーマ 地域で取り組む子ども虐待の防止
 日時・会場 平成25年1月27日(日) 発明会館ホール
 参加者 約120名
 内容 基調講演・シンポジウム



2 児童虐待防止啓発活動事業

児童虐待防止について広く啓発し、オレンジリボンを胸に付けることで児童虐待防止を呼び掛ける目的で幅広く活動を行った。

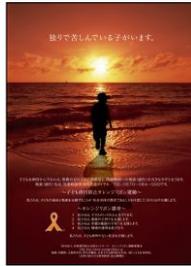
◆ ポスターコンテスト事業

一般市民への啓発のため、全国の方からデザインを募集しオレンジリボン運動のポスターを作成した。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期： 募集…3月～5月、選考6月、表彰…11月(鎮魂集会にて)
- 内容： 最優秀賞10万円を1名、優秀賞3万円を2名、ほか企業賞を設定し、美術系の専門学校・大学等を中心に応募を呼び掛けた。応募総数430作品の中から審査員が選考し、1次審査通過者には記念としてオレンジリボンストラップを贈呈した。11/23に開催された鎮魂集会で表彰を行った。
- 選考したデザインを活かしてポスターを作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



<優秀賞>

◆ イベント等共催事業

支援団体と協力して児童虐待防止の啓発を行った。24年度は11団体(全国で11か所)の協力を得て啓発活動を行った。

- 実施時期： 24年度中
- 内容： 各地の支援団体とイベント等を共催し、企画・広報等の支援をするとともに開催経費を一部負担した。

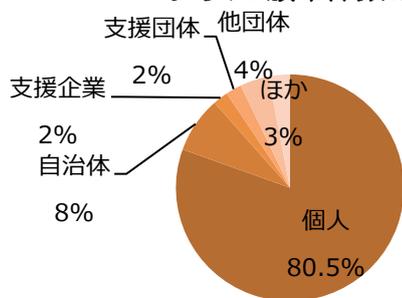
NPO オレンジリボン子育て支援団体Mother of Pearl: GGNゴスペル・サマーステージ2012
 NPO 子ども劇場笠岡センター: 映画上映会「隣の人」/啓発
 ながの子どもを虐待から守る会: 啓発のためグッズの配布およびパレード/講演会
 NPO 岡山市子どもセンター: おかやまオレンジリボンキャンペーンにて啓発
 NPO 日本タッチ・コミュニケーション協会: 乳幼児虐待予防フォーラム
 こども家庭支援センター シャローム: 講演会
 NPO 子育てパレット: ママフェスタ開催(「隣の人」上映、オレンジリボンオーナメント作り等)
 NPO 子育て支援センターちびっこはうす: ちびっこキャラバン/シンポジウム
 NPO 和歌山子どもの虐待防止協会: 啓発パレード
 NPO 子ども虐待防止オレンジリボンたすきりレー実行委員会: たすきりレー
 CSRびわこ: たすきりレー

◆ ツール作成・配布

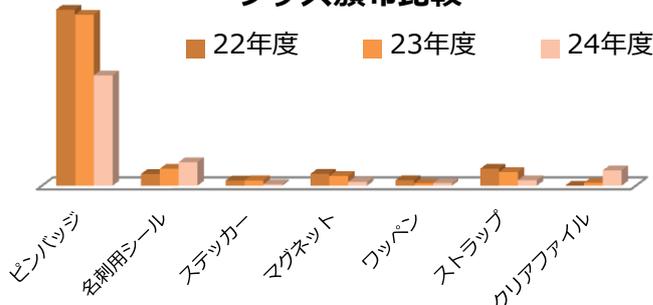
オレンジリボン運動の啓発ツールとして、布リボン、チラシ、ポスター、啓発冊子、バッジ、ストラップ、ステッカー、マグネット、マスク等を作成・配布し、児童虐待に関する啓発を行った。11月にはオレンジリボンTシャツを追加し、一般にもイベント等に着用し、啓発活動に活用するよう呼びかけた。また今年度は卓上カレンダーを制作し、支援団体・企業、児童相談所等へ配布するとともに、一般へも1,000部配布した。その他、全国の福祉系大学におけるオレンジリボンキャンペーンに協力し、布リボン4,500個を提供した。



グッズ頒布件数の割合



グッズ頒布比較



<グッズ頒布数推移>

ツール	22年度	23年度	24年度
オレンジリボンバッジ	39,980	38,836	25,054
名刺用(啓発シール)	2,661	3,850	5,337
ステッカー	1,172	1,213	341
マグネット	2,709	2,241	864
布製ワッペンシール	1,229	517	574
ストラップ	3,849	3,095	1,252
クリアファイル	-	635	3,480

◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心にオレンジリボンを付けようと呼びかけた。また、個人サポーターへオレンジリボンポスター掲出の願いをし、800枚が掲出された。全国的にオレンジリボンの着用を呼びかけ、11月のみならず市民の参加意識を高められるよう児童虐待防止の啓発をした。

- 実施時期 : 平成24年4月中旬～5月末日
- 内容 : 個人サポーターを中心に、オレンジリボン着用、ポスター掲出の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止月間の主催イベントとして、全国各地でツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期 : 平成24年11月3日(土・祝)を中心にその前後で実施。
- 内容 : 駅前等の公共の場所を中心にマスク、布リボン、チラシを配布するとともに、のぼり旗や声かけなどで児童虐待防止について啓発・呼び掛けを行った。

株式会社SOBO、ちどり保育園、大和商事株式会社、株式会社ゴルフ・ドゥ、日本子どもの虐待防止民間ネットワーク、東京未来大学、アットウェブ株式会社、株式会社ハウスサポート、いばら乳業株式会社、くまがやオレンジハートの会、子どもを虐待から守るまふもと、NPO法人次世代たかねざわ、ポートルース鳴門、こどもの寺童楽寺、Books & cafe Wonderland、NPO法人しあわせメンターズスクール、日本総合探偵事務所、ママnet、株式会社WILL、平尾安全硝子株式会社、NPO法人和歌山子どもの虐待防止協会、国際ソロプチミスト横手、学校法人クラーク学園和泉短期大学、有限会社アド・フューチャー、HA-LIFEJAPAN株式会社、こども家庭支援センターシャローム、児童虐待防止協会、大阪学校生活協同組合、子ども虐待ホットライン広島、リスクコンサルティング株式会社、CFRびわこ、NPO法人子どもの虐待防止ネットワークしが、株式会社富士テックス、CAPS・すわ、NPO法人AI、ながの子どもを虐待から守る会、NPO法人子ども劇場笠岡センター、株式会社NEWS、白梅学園大学、大分キワノスクラップサテライト、株式会社イージェット、NPO法人岡山子どもセンター、滋賀短期大学、社会福祉法人愛和会中筋児童館、有限会社エッグプランニング、アートチャイルド株式会社、NPO法人北区子育て支援センター、株式会社キャッチアップ、足立区民生・児童委員協議会、一富士フードサービス株式会社、NPO法人Kumaの散歩道、NPO法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会、名古屋サイクロンズ、日本メトロニック株式会社、NPO法人子どもの虐待防止ネットワークかがわ、NPO法人オレンジリボン子育て支援団体Mother of pearl、株式会社サロン・ド・ジュン、デルビス株式会社、ハーレーサンタ CLUB、熊新プロジェクト、NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会、児童家庭支援センター子そだてサポートひかり、有限会社グローバルサービス、士衛館、NPO法人日本マザーズ協会、FC GONA、ファザーズ・コウチ、飯塚病院小児虐待防止委員会(AI-CAP)、NPO法人チャイルドケアセンター、NPO法人子育てパレット様、いっさいがっ祭、フィリップモリスジャパン株式会社、駿河台大学、大蔵六四会、NPO法人里親子支援のアン基金プロジェクト、カンガルー小山、全国社会福祉協議会 児童福祉部 全国児童養護施設協議会 (順不同、協力77団体)



児童虐待防止全国ネットワークとして

- 実施日 : 平成24年11月3日(土・祝)
- 実施場所 : 東京都中央区銀座数寄屋橋交差点
- 内容 : オレンジリボン委員、個人サポーター、事務局、総勢48名にて、オレンジリボンTシャツを着用し、マスク20,000枚を配布、のぼり等を立て休日の大勢の人が行きかう中、オレンジリボンの啓発を行った。

◆ 鎮魂集会事業

児童虐待によって失われた子どもの命を悼み、児童虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会を行った。

日時 平成24年11月23日(金・祝)
会場 日比谷公会堂

内容

第10回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会

守ろう子どもの命と心 広げよう子ども虐待防止オレンジリボン運動 ～わたしたちにできることがある～
 1部では、虐待死した子ども(49名)の名前が読み上げられ、命を讃え黙祷を捧げた。
 2部では、オレンジリボン運動についての報告があり、私たちにもできることがあることを訴えた。
 3部では、オレンジリボン運動へ賛同してくださるアーティストの方々の歌、演奏が披露された。
 また、参加者それぞれの思いや願い、意見などを記入したカードをボードに貼付けて、「決意と願いのツリー」を作り上げた。(決意と願いのツリーは、後日、厚生労働省1階ロビーにて展示された)



◆ 子ども虐待防止のための講演、研修および取材

<新聞、TV、雑誌の取材>

日付	媒体	タイトル	内容
4月20日	朝日新聞	「たたかない子育て～共感し考える力伸ばす」	高祖理事取材
6月2日	広報いちかわ	子どもの明るい未来のために	児童虐待防止に向けて
24年6月号	フィランソロピー	被災した子どもを救う「プレイメーカープロジェクト」	4/27～5/1プレイメーカープロジェクト
6月18日	しんぶん赤旗	被災地子どもの心のケア	6月17日シンポジウム
10月20日	産経新聞	児童虐待防止へ「オレンジリボン運動」	オレンジリボン運動の紹介
10月24日	NHK総合テレビ「ニュース9」	児童虐待死亡事件に関するコメント	吉田理事長取材
10月29日	福祉新聞	厚生省の児童虐待防止対策協議会	国や民間団体の情報交換
11月11日	NHK総合テレビ「おはよう日本」	「子どもに向き合うポジティブ子育て」	高祖理事 江東区にて登壇した模様を放送
11月12日	NHK NEWS WEB24	「たたかない、どならない子育てをするには」	高祖理事 ゲストコメンテーターとして出演
11月24日	しんぶん赤旗	子ども虐待止める	11月23日集会
25年1月号	アイユ	児童虐待のない社会をつくるために	11月23日集会
25年2月号	フィランソロピー	「プレイメーカープロジェクト」実践報告	被災した子どもたちの心のケア
25年2月号	まちむら	「児童虐待防止活動」に地域で取り組むために	吉田理事長取材
複数号にて	東日本遊戯機商業協同組合 広報誌	オレンジリボン運動	児童虐待の現状とオレンジリボン運動の活動

<講演会・研修会等への講師派遣>

日付	内容
7月11日	「平成24年都民連（東京都民生児童委員連合会）子育て支援部会シンポジウム」にパネラーとして登壇
9月21日	「児童虐待への対応～私たちにできること～」所沢市教育委員会
11月24日	文京区「たたかない＆どならない子育て」で、「ポジティブ子育て」のワークショップを実施
11月25日	「子どもの権利条約フォーラム2012 in あいち」分科会 「子どもに対する暴力のない社会をめざして」に登壇
11月30日	ファザーリング全国フォーラムinとっとりタイガーマスク基金分科会「社会的養護下の子どもたちに、幸せの可能性と人生の楽しさを！」に登壇
1月23日	NPO法人ファザーリング・ジャパン東海「『児童虐待』その実態とたたかない子育て」の勉強会に登壇
1月24日	明治安田生命「叩かないポジティブ子育て」の勉強会に登壇
2月15日	「人権侵害としての児童虐待」
2月27日	「児童虐待のない社会をめざして」豊島区ロータリークラブにて
3月8日	広島県庄原市児童虐待防・講演会「『叩かない子育て』で子どもを育む」に登壇
3月25日	足立区関三コミュニティひろばで、編集長 高祖常子が「ポジティブ・ディシプリン講座」を実施

3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ 大災害で被災した子どもを救う「プレイメーカー・プロジェクト」

テーマ ～子どものそばにいる人や保育士や教師などによる傷ついた子どもの「発見」と「ケア」～
 日時・会場 平成24年4月27日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター
 参加者 約170名
 内容 児童精神科医の報告、ディスカッション

◆ 被災した子どものケアと災害を背景に発生する子ども虐待について

テーマ ～親と子への支援、「プレイメーカー・プロジェクト」実践報告～
 日時・会場 平成24年12月18日(火) 国立オリンピック記念青少年総合センター
 参加者 約100名
 内容 宮城県での児童精神科医の実践報告、ボストン小児病院での活動報告およびディスカッション



◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

平成24年12月7日～8日に開催された学会の定例大会時に、資料配布用にオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。

◆ 子ども虐待防止の先駆的・開拓的または研究的な取組みを行っている団体に対し、経費を含まさまざまな助成をし、当該6団体と連携した子ども虐待防止の推進を図った。

NPO法人日本子どもの虐待防止民間ネットワーク、認定特定非営利活動法人いばらきこどもの虐待防止ネットワークあい
 NPO法人児童虐待防止協会、NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee、NPO法人CAPセンター・JAPAN
 公益財団法人全国里親会